

～実用新案登録～

～究極～

AT/CVTフルードチェック 「コンタミチェック」が 効率的に進化！



AT/CVT摩耗診断ツール

「コンタミ」とは「contamination(不純物)」=摩耗粉を意味します

～コンタミチェック！～30万台のチェック実績！

～ご安心下さい～

- ・異常摩耗なし！
- ・ATF交換可能！
- ・安心カーライフ！
- ・安心の継続検査！



フィルターがきれい



フィルターが変色

～キケン！～

- ・異常摩耗あり！
- ・ATF交換キケン！
- ・ユーザーへ注意喚起
- ・車両乗換のご提案



引いて



ロック



放置でOK！

効率改善ポイント！

専用オイルテスターの開発により「引いて・ロック」のツーステップ
オイルの抜取りが超カンタンに！

(特許庁実用新案登録:第3203208号)

- ・専用フィルターでプロの判断！
- ・ATF/CVTFを売り逃しません！
- ・交換後のトラブル発生を徹底回避！
- ・短時間で簡単チェック！

過走行でも怖くない！

～チェック方法はとても簡単～

専用オイルテスターにコンタミチェック専用フィルターを差込み、吸引ホースをジョイント。レベルゲージパイプから20cc(専用テスターの6割程度)ATFを抜き取り、専用フィルター内に残ったATFをエアとパーツクリーナーで飛ばします。あとはフィルターを目視チェックするだけ。AT内部の異常摩耗を簡単に判別できます。



キット内容

- ・専用オイルテスター
- ・専用フィルター40ヶ
- ・吸引ホース1m(FF用)
- ・吸引ホース1.5m(FR用)
- ・エア注入用注射器
- ・マニュアル付収納ケース

お問い合わせ:

製造・発売元:株式会社新生製作所

～AT内部の異常摩耗が検査可能になります～

「コンタミチェッカー」では、これまで不可能であった～AT内部の異常摩耗～の検査を可能にしました。
 ～AT内部の異常摩耗～はATトラブルやATF交換に関する最も重要な判断材料となります。
 「コンタミチェッカー」の検査結果は以下の内容を意味します。

**このオートマは
傷んでるか???**



**外からでは判別
できないなあ..**



**フィルターがきれい
↓
ATの状態は良好**



さあ、オートマの中をのぞいてみましょう!



**フィルターが変色
↓
異常摩耗あり**



AT本体のトラブルには、ほとんどの場合多板クラッチをはじめとする、摩擦材の異常摩耗が関連します。この「異常摩耗」という重要な判断材料を得ることで、次のような効果が期待されます。

ご提案その①ATF交換のお勧めに...

ATF交換の判断で「ATFが黒い」や「走行距離が多い」というのは非常に大雑把な判断材料に過ぎません。ATF交換後に起こるATトラブルの主な原因は「摩擦材の異常摩耗」です。「ATFが黒い」や「走行距離が多い」という車でも「異常摩耗」さえなければATF交換後に大きなトラブルが起こることはありません。

ご提案その②ATF交換後のトラブル回避に...

定期的にATF交換していれば当然ATFは赤みが保たれます。「ATFが赤い」「走行距離が少ない」からといって安心は出来ません。ATFが赤くても「異常摩耗」が起こっていれば大きな危険がひそんでいます。

ご提案その③ATトラブルシューティングの時間短縮に...

「AT本体が悪いのか?」こんな悩みを抱えることも少なくありません。真の原因が何であれ「異常摩耗」していれば「AT本体も悪い」のは明白です。あれこれ悩む時間も削減できます。

ご提案その④お客様へより有意義な提案を...

「車検受けたばかりなのにATが滑りだした...」というような事例も少なくありません。AT修理の費用負担は大きくお客様の満足度低下を招く恐れがあります。車検時に「異常摩耗」をチェックしておけば...

「異常摩耗あり」...「新車乗換えのお勧め」「異常発生時の早期入庫」

「異常摩耗なし」...「ATF交換のお勧め」「継続検査のお勧め」

といった、より有意義な提案が可能となります。

これからの常識

ATFが黒い=コンタミチェックOK=ATF交換可能
 走行距離が多い=コンタミチェックOK=ATF交換可能
 ATFが黒い=コンタミチェックOK=AT良好
 走行距離が多い=コンタミチェックOK=AT良好

これまでの常識

ATFが黒い=ATF交換不可
 走行距離が多い=ATF交換不可
 ATFが黒い=ATが摩耗している
 走行距離が多い=ATが摩耗している

「AT/CVT摩耗診断ツール」はATトラブルの主原因である「異常摩耗」のチェックを可能にしました。これまで見極めきれなかった「異常摩耗」は、AT関連の整備・メンテナンスにおいて非常に重要な判断材料となります。AT異常には電磁部品の故障をはじめ突発的な故障もありますので「コンタミチェッカー」の検査結果はATF交換後のノトラブルを保証するものではありませんが、「コンタミチェックの結果」と「AT分解チェックの結果」を照らし合わせながら多くのデータを背景としておりますので、「異常摩耗」を見極めるには十分な精度を備えております。これまでの経験や、走行状態・ATF交換歴を含め、「コンタミチェック」を整備/メンテナンスの判断材料として是非ご活用ください。